

## 週刊 女川湾海況速報 (No.3)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

7 月 30 日から 8 月 3 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比べ、水温、塩分はともに上昇傾向。水温は水深とともに下降。表層（0m）と底層（5m）で 2.3～3.3℃の水温差。塩分は 33.3～33.6 パーミル、鉛直的にはほぼ一様。

水深 [m]	7月30日 (月)	7月31日 (火)	8月3日 (金)
0	20.2 (33.3)	19.5 (33.4)	20.9 (33.4)
5	17.6 (33.4)	17.2 (33.5)	17.6 (33.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

\*31日は水深4mのデータを使用。

②濁度：先週と比べ、全体的に下降傾向。経時的には31日に底層で上昇。

水深 [m]	7月30日 (月)	7月31日 (火)	8月3日 (金)
0	0.3	0.5	0.8
5	0.9	1.2	0.6

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、ほぼ同程度。8～9mg/l 台を維持。

水深 [m]	7月30日 (月)	7月31日 (火)	8月3日 (金)
0	8.2	8.6	8.4
5	8.6	8.5	9.2

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温は水深とともに下降。水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配（4.1℃/5m）。塩分は水深とともに上昇。水深 15m 以深は外洋水の影響と推定。濁度は 0.8～1.5FTU。溶存酸素は 7.8～8.5mg/l。

7月31日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	20.8	33.0	0.8	8.2
5	16.7	33.6	1.5	8.5
10	15.9	33.6	1.0	8.4
15	15.1	33.7	1.3	7.8
20	15.0	33.8	1.5	7.9

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。